



3がつ11にちを わすれない ためにセンター

発信はさまざまな支援活動を応援し、記録は未来への財産となるように。

せんだいメディアテークは2011年5月3日、東日本大震災による甚大な影響に対し、ともに向き合い考え、復興への長い道のりを歩きだすため「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を開設しました。

市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録していくプラットフォームとなるこのセンターでは、映像、写真、音声、テキストなどさまざまなメディアの活用を通じ、情報共有、復興推進に努めるとともに、収録されたデータを「震災の記録・市民協働アーカイブ」として記録保存しています。

センターには「スタジオ」と「放送局」があり、スタジオは情報収集やビデオカメラ等取材用機材が用意されている他、テキスト執筆、映像や写真の編集、インターネットへの配信などの作業が可能です。放送局ではインターネットを介した番組の収録と配信をおこないます。

メディアを通じた支援活動の応援、震災の記憶の蓄積にぜひご参加ください。

こちらのウェブサイトからセンターに集まった
映像、写真、音声、テキストなどをご覧いただけます。

<http://recorder311.smt.jp/>

参加方法について

参加いただく際には、事前登録が必要です。

登録の条件

- センターの趣旨に沿った非営利の市民活動をおこなう個人、団体であること
- またはそれを促進・支援する活動であること
- 所定のルールに則り、ほかの参加者とも協働し活動すること
- 活動の内容や記録、作品などの活動成果を公開すること
- 著作者等の確認をおこない、せんだいメディアテークからの情報公開を承認すること

申し込み手続き

参加する際には、連絡先や企画を記入する所定の申込用紙をご提出いただきます。この申込書をもとにせんだいメディアテークで活動内容・スケジュールなどの審査をおこない、結果をお知らせします。審査に2週間程度かかる場合があります。登録後は、利用予約が必要です。せんだいメディアテーク7階、受付・相談カウンターにお申込みください。

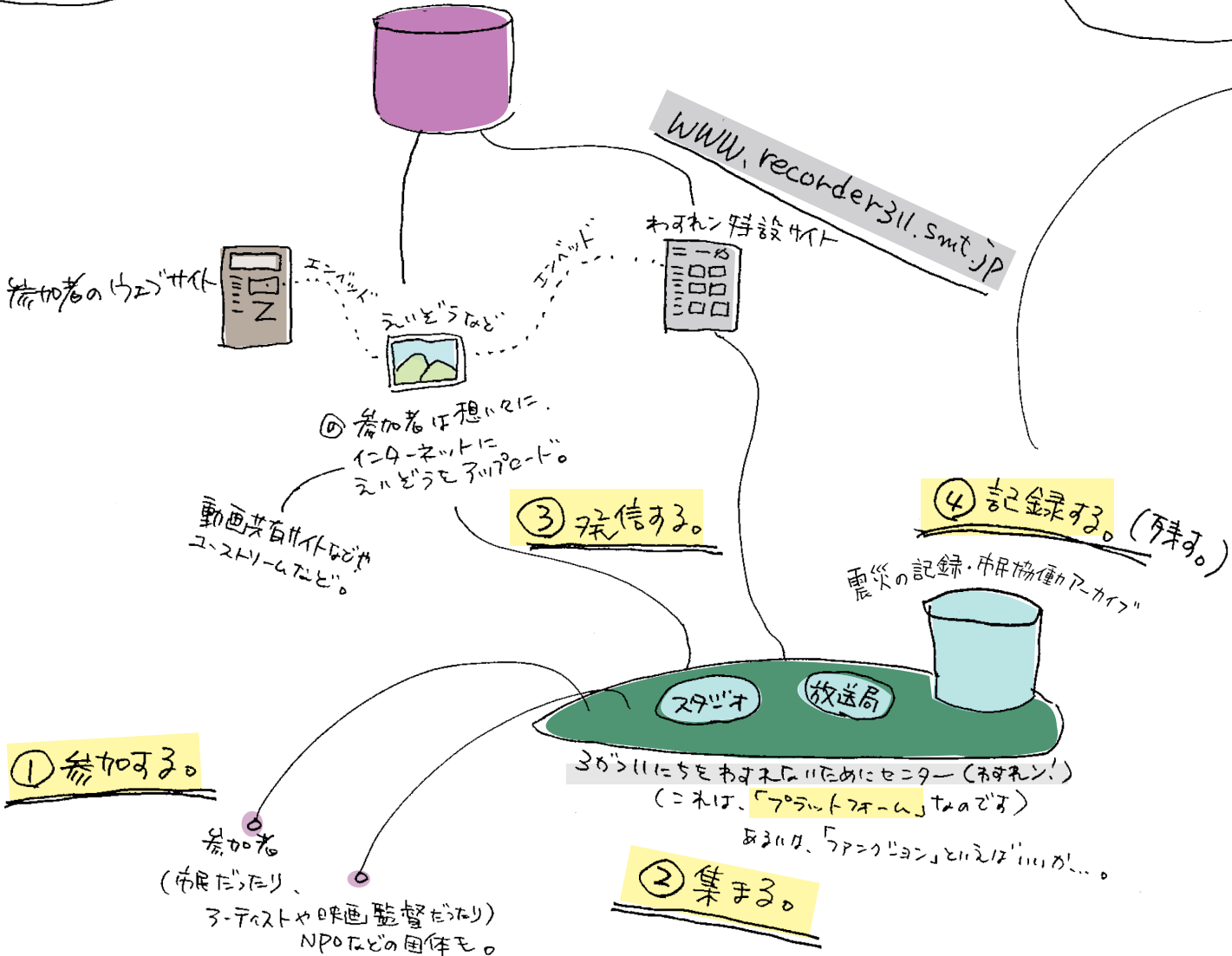
お問い合わせ

 **せんだいメディアテーク**
sendai mediatheque

企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1
TEL: 022-713-4483 FAX: 022-713-4482
E-mail: wasuren@smt.city.sendai.jp
Twitter/ Ustream / Facebook: @recorder311

3がう11に5を
おそれた11Eに
センターの仕組み
の図

た、あうと、見てもう。
インターネット



これからのこと。

⑤ アーカイブの活用。
 ・上映会も開いたし。
 ・AVライブラリーに並べたり。
 などなど。
 センターは「アーカイブ」
 だよ。

⑥ これが下巻
 それ以外にモ...
 集めた記録全体を財産として
 ちゃんと保管、活用してくれる
 団体や組織が設けられたら。
 移管(移す)が予定。

あと、モと...

サイト全体(中身の映像や記事など)
 をバイリンガルにした。もど知5せた11。

とか、

去年は「おそれん！」を流けた11。

とか、

集めた映像の活用の仕方、
 開発した11。 スタッフ一同

--- と考えています。

① 参加する。

参加者
 (市民だったり、
 テキストや映画監督だったり)
 NPOなどの団体も

③ 発信あり。

⑥ 参加者は想いに
 インターネットに
 エピソードをレポート。
 動画共有サイトや
 ユーチューブなど。

④ 記録する。(残す。)

震災の記録・市民協働のアーカイブ

② 集まる。

3がう11に5をおそれた11のためにセンター(おそれん!)
 (これは、「プラットフォーム」です)
 ある11、「アクション」として11...

- ④ みんな、各自、思うように記録や
 取材をまねていきます。
 沿岸部に行く人はいっぱい、街中の人もいる。
 岩手、宮城、福島と広範囲。
- ⑥ ビデオカメラを持つこと、
 「記録する」機会となります。

★ これからの水面下には、ちゃんと「法的処理」も必要になります。